



経済システムの転換

令和7年5月20日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

先端技術における利便性の向上は生産性の拡大や新しい社会システムへの転換とともに、新しい経済システムが背後に資本力を得、新しい世界への転換を模索するのである。

これらは経済が有する絶対的な影響力が、新しい経済構造への転換をグローバリズムとともに実現するものである。

これらは実体経済の現実がその変化を有することを理解すべきである。これらは明らかに次世代技術とシステムへの転換という経済の現実がそのプレゼンスを大きく拡大し、その影響力を拡大させているためである。

これら強大な世界メジャーがその資本力と開発力において新しい現実の創造を得るものであり、それが完全に現実を支配しているのである。

これら今日の変化はそれら進歩性が与える利便性や効率性という新たな基準への転換なのである。

これらが知的産業と知的集積産業における先端システムと利益性という絶対性が存在するのである。

これらが多面的な現実の進歩性をそれら新しいエリートたちが有し、彼らが新しい現実の創出と牽引を得るのである。

これら先端産業が今日社会での必要性において企業価値を織るかに大きく有することは理解されなくてはならない。しかし経済のブロック化において西洋陣営が自己の産業と市場を閉ざすならば、自国におけるそれら先端産業の育成は絶対的な要求なのである。

これら経済のブロック化は、西洋陣営が自己を優先し世界への責任を放棄するとき、その世界の崩壊は否定できないのである。

これらが独立と自立という国家の必要性への正しい理解を与えるのである。